

平成30年度NPO等による復興支援事業

いわて震災エッセイ 2019 作品募集のお知らせ

《応募規定》

東日本大震災及び震災以降の心の動きや未来に向けての思いなどを綴ったエッセイを募集します。

文字数1200～1600字。応募は1人1篇。(未発表のもの)原稿用紙(400字詰)の郵送または、メールでも受付可。

全て縦書きとし、メールはWordによる添付文書とする。

次の事項を明記した別紙を添付すること。

- ① 作品題名 ② 筆名(本名) ③ 生年月日・年齢・性別
- ④ 職業または学校名 ⑤ 住所・電話番号
- ⑥ 岩手県在住以外の方は、岩手県とのつながりを付記。

《応募資格》

岩手県在住者、在住経験者、岩手出身者など岩手ゆかりの方(被災地支援・復興支援のため来県された方も含める)

《応募締切》平成30年10月31日(当日消印有効)

《発表》平成30年11月(予定)

《選考委員》

池田 克典氏(前岩手県文化振興事業団理事長)

小山田 泰裕氏(岩手日報社編集局学芸部長)

斎藤 純氏(作家)

高橋 万見子氏(朝日新聞社盛岡総局長)

《応募先》

〒020-0878 盛岡市肴町4-20 永卯ビル3階

いわてアートサポートセンター内「いわて震災エッセイ2019」係

TEL: 019-604-9020 / kaze@iwate-arts.jp

《主催・問合せ》特定非営利活動法人いわてアートサポートセンター

TEL: 019-604-9020 / kaze@iwate-arts.jp



いわてアートサポートセンター

鉤屋町界隈イベント情報

てどらんご

2018年10月13日(土) - 14日(日)

10:30-16:00 盛岡市鉤屋町界隈

年に2回のクラフトイベント♪

主催: もりおかワカものプロジェクト(通称もわっぷ)

問合せ: morioka_wakamono_project@yahoo.co.jp

※鉤屋町一部区間が歩行者専用道路・車両通行止めとなります。



もりおか町家物語館には
キッチンカーも出店!



発行者 特定非営利活動法人いわてアートサポートセンター

【本部】

〒020-0874 盛岡市南大通1丁目15-7 南大通ビル3階

TEL (019)656-8145 FAX (019)656-8146

E-mail info@iwate-arts.jp URL http://iwate-arts.jp

【肴町事務所・風のスタジオ】

〒020-0878 盛岡市肴町4-20 永卯ビル3階

TEL (019)604-9020 FAX (019)604-9021

E-mail kaze@iwate-arts.jp URL http://iwate-arts.jp

〈窓口営業時間〉火・水・金 10:00~18:30 木・土 10:00~17:00

〈施設利用可能時間〉9:30~21:30

【もりおか町家物語館】

〒020-0827 岩手県盛岡市鉤屋町10-8

TEL (019)654-2911 FAX (019)654-2913

E-mail machiya@iwate-arts.jp URL http://machiya.iwate-arts.jp

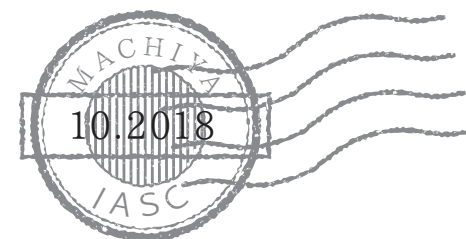
〈開館時間〉9:00~19:00(最終入館18:30) ※浜藤ホールのみ利用時は21:30まで

〈休館日〉毎月第4火曜(休日の場合はその翌日) 年末年始12/29~1/3

〈入館料〉無料 ※一部企画展は有料の場合があります。

◎プレイガイドをご利用下さい!

肴町事務所・風のスタジオ窓口と、もりおか町家物語館案内所には、プレイガイドを設置しております。販売手数料5%(消費税込み)で、イベントチケットをお預かりしております。直接ご来館のうえ、職員にお声がけください。

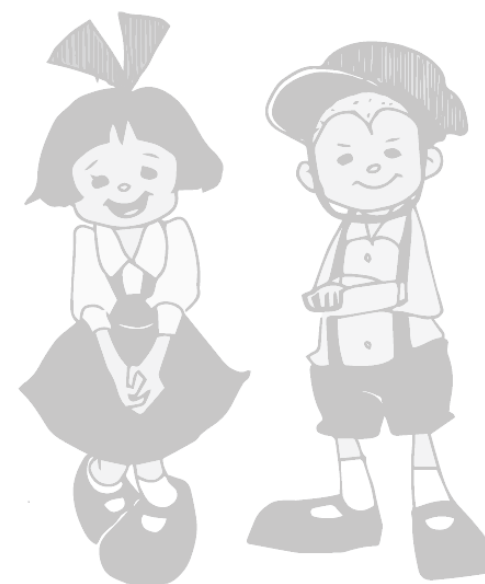


もりおか町家・風の通信

10月号



The arts of autumn...



当館キャラクター
モリオくん & マチコちゃん♪



したまち小劇場祭 2019 参加団体募集!

公演期間 2019年2月1日(金)~3月10日(日)
※公募枠日程についてはもりおか町家物語館HPをご覧ください。

募集会場 もりおか町家物語館、風のスタジオ

ジャンル 音楽、演劇、映画、伝統芸能、その他パフォーマンスアーツ

募集団体数 最大5団体

応募方法 もりおか町家物語館HPより『したまち小劇場祭参加申込書』をダウンロードし、必要事項を記入の上、メール、または郵送にて事務局までお申込下さい。

応募締切 2018年10月31日(水)必着
※選考結果は11月20日にもりおか町家物語館HPにて発表後、郵送にて通知します。

応募先 もりおか町家物語館したまち小劇場祭事務局
〒020-0827 盛岡市鉤屋町10-8
machiya@iwate-arts.jp

ちいさな朗読会

宮沢賢治 銀河鉄道の旅 イーハトーヴから北海道へ

演出・出演 北のやまねこ

日 時 10月28日(日) 14:00~(開場は開演の30分前)

入 場 料 無料 【問合せ】090-2051-8729 (なるかわ)

風のスタジオ
公演情報



もりおか町家物語館



管楽器の学校 ～木管楽器フルート編～



日時 10月20日(土)
13:30 開場 14:00 開演
場所 もりおか町家物語館 浜藤ホール
入場料 前売 1,500円 当日 2,000円
《親子券》(大人1名+中学生以下1名)
前売 2,500円 当日 3,000円
※親子券は中学生以下のお様が2名以上の場合、
2人目からは1人につき1,000円となります

出演 牧野詩織・石川深理・山崎鮎子

《チケット予約》

・TEL. 019-654-2911

・mail. machiya@iwate-arts.jp

《プレイガイド》

カワトク / プラザおでって

風のスタジオ / 当館窓口



↑チケット予約
専用コード



◆てどらんど同時開催企画 by上野法律ビジネス専門学校

「岩手の魅力再発見・真発見」

日時 10月13日(土)～14日(日) 10:00～16:00
(一部10:30スタート)

場所 もりおか町家物語館 風の広場・浜藤ホール

内容 行者にんにく塩焼きそば(1日100食限定)
三陸わかめうどん(1日100食限定)
鬼の手形お願いコーナー・岩手の良さ再発見の展示

第44回 盛岡彫刻シンポジウム 野外展



「彫刻のある街と市民文化の推進を願う」をテーマに
毎年、企画展・野外展を開催している盛岡彫刻シンポジウム

日時 10月15日(月)～28日(日)

場所 もりおか町家物語館 風の広場
(開館時間: 9:00～19:00)

観覧料 無料

オラホの盛岡弁塾

事業報告

9月2日(日)、新規事業として「オラホの盛岡弁塾」を開催しました。
田口友善さんをお迎えし、盛岡弁を使った小話・クイズや替え歌などが披露され、満席に近い会場は熱気すら感じるほど、盛り上がっていました。

『盛岡弁』といっても地区によって使い方や表現の仕方、イントネーションが微妙に違ったり、「あすぼろぎする」「ぼっくらぼっくらずい」等聞いたこともないような言葉が飛び出したりと、楽しみながら盛岡弁に親しむことが出来ました。



日常的に使われなくなってしまった昔ながらの盛岡弁。後世に引き継いでいくという意味合いもあり、地元の小学生「わらしやんど」や地元の若者「わけえひどだづ」にも出演いただき、会場を盛り上げていただきました。

もりおかお酒の学校

第2回 ビールの歴史とホップの話

ビール編
2018

★岩手ウィート ★アップルラガー ★ヴァイツェン

日時 11月7日(水) 19:00～20:30 *開場・受付は20分前から

講師 嵐田洋一氏 (株式会社ベアレン醸造所専務取締役)

会場 もりおか町家物語館 浜藤ホール (定員24名/要申込)

受講料 3,000円 *3種のビール、パンつき

【申込方法】 電話またはメールにて、以下をお知らせ下さい。

①お名前(漢字表記/フリガナ) ②年齢 ③ご連絡先お電話番号

※メールの際は件名を「ビール編11月申込み」をお願いいたします。

TEL:019-654-2911 mail:machiya@iwate-arts.jp



カフェ DOMA

阿部佳則 ペン画展 2018

9月16日(日)～10月26日(金)

営業 11:00～16:00

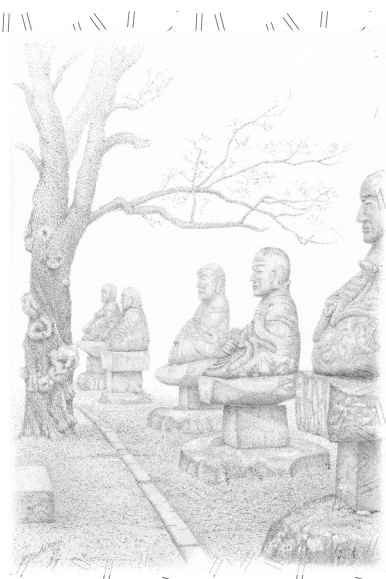
定休 毎週火・水曜日

※営業時間外も、施設開館中は見学可能です。

※臨時休業の場合もございます。

営業時間はホームページ等でご確認ください。

休館日・10月23日(火)



リレーコラム No.30

風の楽器・フルート

フルートという楽器をご存知でしょうか? ソロ演奏はもちろん、オーケストラや吹奏楽、少人数のアンサンブルまで多岐に渡って活躍している、いわば「花形」楽器です。合奏の中ではいわゆる“高音域”を担当していて、どんな大人数の中でもその軽やかで透き通った音色は聴き手の耳にスーッと届きます。まさに“風”のよう。

フルートはよく「風の楽器」と言い例えられますが、それは音色の特性だけでなく、音の出し方そのものを示しています。

サクソやクラリネットがリードを振動させて音を出したり、金管楽器全般が唇を振動させて音を出すのと同様に、我々フルートチームも“何か”を震わせて音を出すのですが…これが実は目に見えない「空気」なのです。

実体のない空気の振動で音を出している(物理的に言えば息によって金属の管体を震わせているのですが)、なんともロマンチックだなあと感じてしまいます。

この息、目に見えない空気、を「風」と言い換えた人もきっとロマンチストだったのでしょう。そんなロマンチックなエピソードのあるフルート。奏者の吹き姿も何とも優雅です。楽器もコンパクトで持ち運びがしやすいですし、かわいい女の子が吹いているイメージだし…“お嬢様の楽器なんじゃない!?”なんて言われることもしばしば。

ところが!フルート奏者の実態はそんなものではありません。まるで湖を泳ぐ白鳥が、水面では優雅にゆったり泳いでいるのに反し、水の中では必死に足を動かして進んでいる様なもの。今回の「管楽器の学校」ではそんなフルートの魅力をたくさんお伝えします。至近距離で私たちが演奏している姿を見て頂いて、「フルートってなかなか重労働なのかな!?’とか「高い音だけでなく、意外と低い音も出せるのか!」など、いまままで違った一面を発見していただきたいですね。

楽しい会になるよう準備中です!10月20日、会場でお待ちしております。

フルート奏者 牧野 詩織